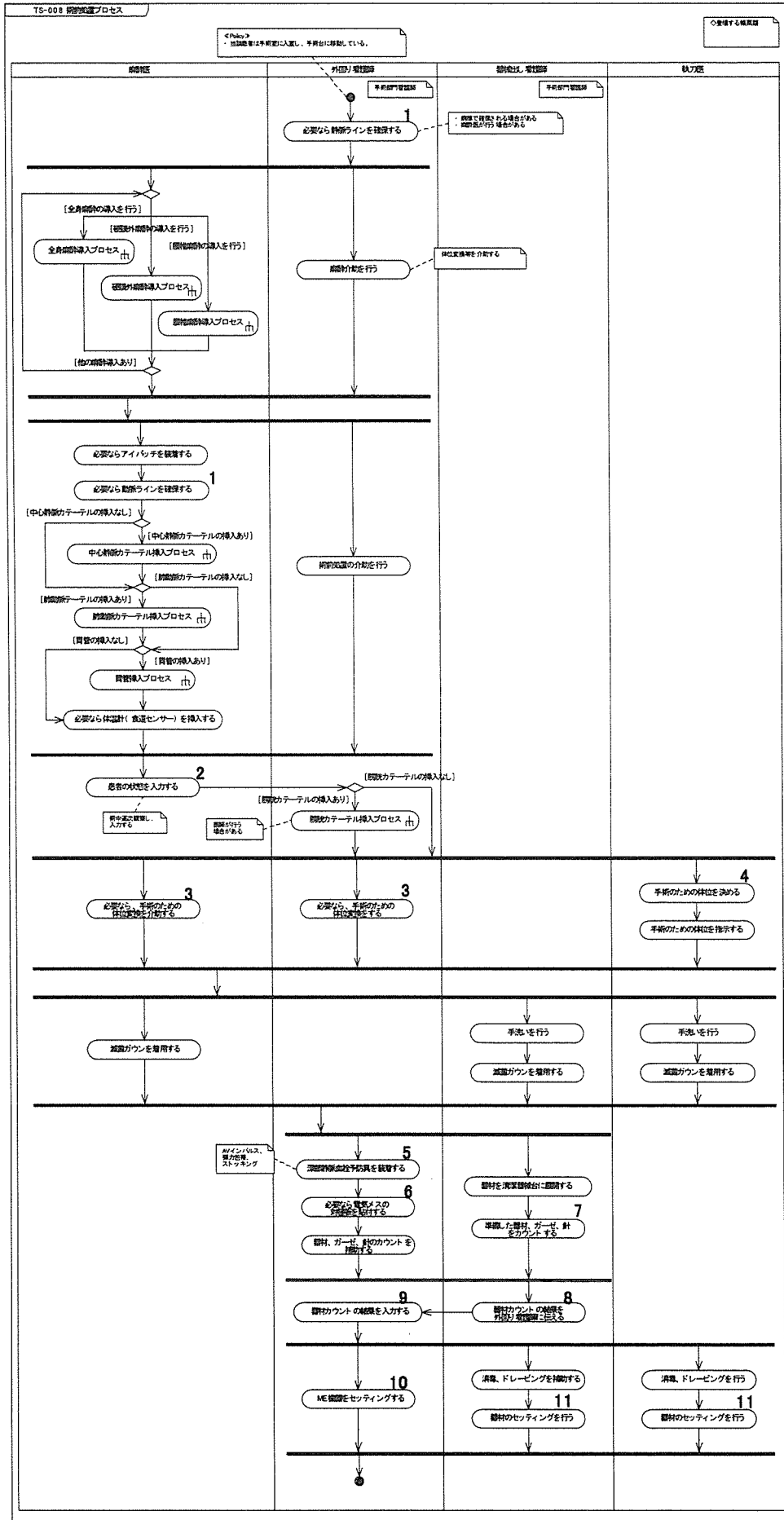


TS-008 術前処置プロセス



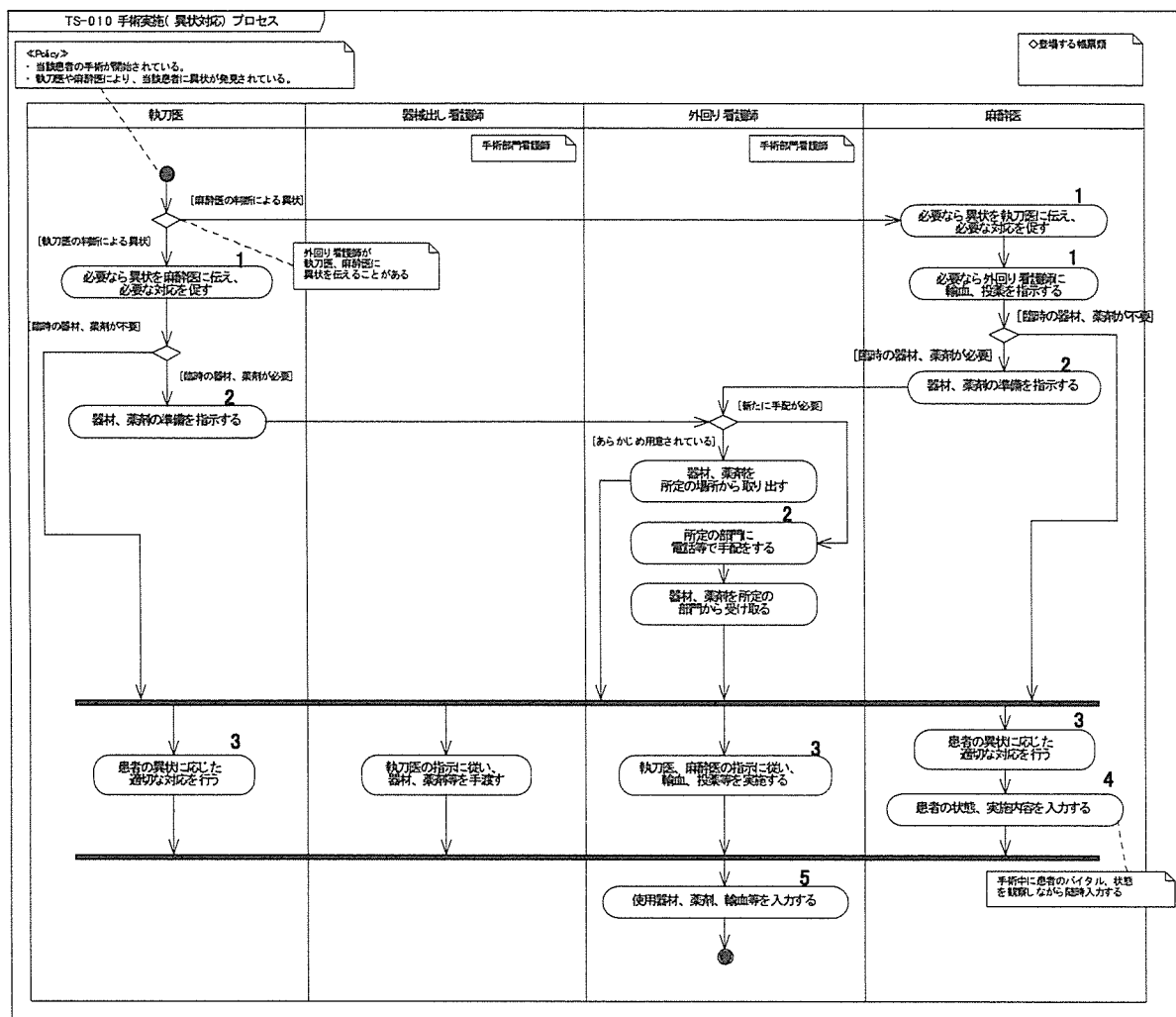
TS-008 術前処置プロセス(表)

No.	誤り	影響	原因	対策	
				情報システム	情報システム以外
1	挿入方法を誤る	患者に不要な負荷を与える (流血する等)	知識・経験が不足している		勉強会の開催等を行う
			作業時の確認を怠る 挿入前の確認作業が不十分である		知識・経験を持った職員がサポートする 二重チェック、あるいはペアによるチェックを義務付ける 作業上の注意事項を周知する
2	内容を誤る	最適な術後のケアが行えない	入力時の操作性が悪い	入力を誤りにくい操作法を採用する	
			入力時の確認を怠る	確認を促す表示を行う	
			知識・経験が不足している	内容の妥当性を検証するための機能を提供する	勉強会の開催等を行う
			入力に十分な時間がかけられない	迅速に入力できるような操作性を実現する	入力代行者などの職員を配置する
			作業環境に適合する入力機器を用意する		
			注意喚起する表示を行う 当該業務が完了しないと次に進めないよう制御する		作業遅れ防止のチェックリスト等を使用する
内容が不足する	入力を怠る	表現が不適切である	作業状況が不適切である		他業務の割込を抑制し、当該作業に集中できる状況を整える
			作業手順を守らない	当該業務が完了しないと次に進めないよう制御する	作業手順を明確にし、徹底する
			用語や記載方法が不適切である	標準的な用語・記載方法呼び出す機能を提供する	業務上使用する用語や表現を標準化し、周知する
			共通認識になっていない内容を入力する	共通認識となるべき情報を周知する機能を提供する(情報の回覧、提示板等)	マニュアルの整備、勉強会の開催等、知識の共有化を行う
3	転倒・転落させる	患者の体に不要な負荷を与える	不注意による		作業上の注意事項を周知する
			介助する人数が不足している 作業方法が不適切である		複数人で介助を行う 訓練を行う マニュアルを作成し、周知する
4	判断を誤る	・手術に最適な体位にならない ・患者に不要な負荷を与える	知識・経験が不足している		場面に応じた判断基準を明確にしておく
5	実施を怠る	患者に不要な負荷を与える (深部静脈血栓を引き起こす等)	不注意による		作業遅れ防止のチェックリスト等を使用する
			作業状況が不適切である		他業務の割込を抑制し、当該作業に集中できる状況を整える
6	実施を怠る	患者に不要な負荷を与える (熱傷を引き起こす等)	作業手順を守らない		作業手順を明確にし、徹底する
			作業状況が不適切である		他業務の割込を抑制し、当該作業に集中できる状況を整える
			知識・経験が不足している		勉強会の開催等を行う
			作業時の確認を怠る 装着前の確認作業が不十分である		知識・経験を持った職員がサポートする 二重チェック、あるいはペアによるチェックを義務付ける 作業上の注意事項を周知する
7	カウントを怠る	・術後のカウント結果と比較できない ・術後のカウント結果と一致しなくなる	作業手順を守らない		作業手順を明確にし、徹底する
			不注意による		作業遅れ防止のチェックリスト等を使用する
			作業状況が不適切である		他業務の割込を抑制し、当該作業に集中できる状況を整える
8	内容を誤る	術後のカウント結果と一致しなくなる	作業時の確認を怠る		作業手順を明確にし、徹底する
			思い違いによる		周辺情報も合わせて伝え、内容に矛盾がないか確認できるようにする
9	内容を誤る	・術後のカウント結果と比較できない ・術後のカウント結果と一致しなくなる	入力時の操作性が悪い	入力を誤りにくい操作法を採用する	
			入力時の確認を怠る	確認を促す表示を行う	
			知識・経験が不足している	内容の妥当性を検証するための機能を提供する	勉強会の開催等を行う
			不注意による	注意喚起する表示を行う	作業遅れ防止のチェックリスト等を使用する
			作業状況が不適切である	当該業務が完了しないと次に進めないよう制御する	他業務の割込を抑制し、当該作業に集中できる状況を整える
			作業手順を守らない	当該業務が完了しないと次に進めないよう制御する	作業手順を明確にし、徹底する
10	セッティングを怠る	術中に正確な患者状態を把握できなくなる	作業手順を守らない		作業手順を明確にし、徹底する
			不注意による		作業遅れ防止のチェックリスト等を使用する
			作業状況が不適切である		他業務の割込を抑制し、当該作業に集中できる状況を整える
11	セッティングを怠る	準備不足で手術が円滑に進まない	作業時の確認を怠る		作業手順を明確にし、徹底する
			作業手順を守らない		作業手順を明確にし、徹底する
			不注意による		作業遅れ防止のチェックリスト等を使用する
			作業状況が不適切である		他業務の割込を抑制し、当該作業に集中できる状況を整える
11	セッティングを怠る	準備不足で手術が円滑に進まない	作業時の確認を怠る		作業手順を明確にし、徹底する
			作業状況が不適切である		他業務の割込を抑制し、当該作業に集中できる状況を整える

TS-009 手術実施プロセス(表)

No.	誤り	影響	原因	対策		
				信頼システム	信頼システム以外	
1	内容を誤る	誤った医療器械が準備される 必要な医療器械が準備されない	思い違いによる		伝達された内容に誤りがないか受領者が確認する	
2	異状を見落とす	異状への対応が遅れる 不適切な患者状態のまま手術が継続される	知識・経験が不足している		勉強会の開催等を行う	
	誤認する		知識・経験が不足している		知識・経験を持った職員がサポートする 教育をする 知識・経験を持った職員がサポートする	
3	麻酔のコントロールを誤る	最適な麻酔深度が保てない 患者に重大な影響を与える (心停止や脳障害を引き起こす等)	知識・経験が不足している		勉強会の開催等を行う	
			作業時の確認を怠る コントロール前の確認作業が不十分である		知識・経験を持った職員がサポートする 二重チェック、あるいはペアによるチェックを義務付ける 作業上の注意事項を周知する	
4	内容を誤る	誤った医療材料、機器が準備される 必要な医療材料、機器が準備されない	思い違いによる		伝達された内容に誤りがないか受領者が確認する	
5	取り換え・調整を誤る	手術が円滑に進まない	作業時の確認を怠る		作業手順を明確にし、徹底する	
6	内容を誤る	最適な麻酔深度が保てない 患者に重大な影響を与える (心停止や脳障害を引き起こす等)	思い違いによる		伝達された内容に誤りがないか受領者が確認する	
7	内容を誤る	異状が回復しない 状態が悪化する	思い違いによる		伝達された内容に誤りがないか受領者が確認する	
8	実施方法を誤る	異状が回復しない 状態が悪化する	知識・経験が不足している		勉強会の開催等を行う	
			作業時の確認を怠る 対応前の確認作業が不十分である		知識・経験を持った職員がサポートする 二重チェック、あるいはペアによるチェックを義務付ける 作業上の注意事項を周知する	
9	転倒・転落させる	患者の体に不要な負荷を与える	不注意による		作業上の注意事項を周知する	
			介助する人数が不足している 作業方法が不適切である		複数人で介助を行う 訓練を行う マニュアルを作成し、周知する	
10	内容を誤る	最適な術後のケアが行えない	入力時の操作性が悪い	入力を誤りにくい操作法を採用する		
	内容が不足する		入力時の確認を怠る	確認を促す表示を行う		
			知識・経験が不足している	内容の妥当性を検証するための機能を提供する	勉強会の開催等を行う	
	入力を忘れる		入力に十分な時間がかけられない	迅速に入力できるような操作性を実現する	入力代行者などの職員を配置する	
			作業環境に適合する入力機器を用意する			
	入力を怠る		不注意による	注意を喚起する表示を行う	作業漏れ防止のチェックリスト等を使用する	
表現が不適切である	当該業務が完了しないと次に進めないよう制御する			他業務の割込を抑制し、当該作業に集中できる状況を整える		
11	内容を誤る	正確な会計ができない	入力時の操作性が悪い	入力を誤りにくい操作法を採用する		
	内容が不足する		入力時の確認を怠る	確認を促す表示を行う		
			知識・経験が不足している	内容の妥当性を検証するための機能を提供する	勉強会の開催等を行う	
	入力を忘れる		入力に十分な時間がかけられない	迅速に入力できるような操作性を実現する	入力代行者などの職員を配置する	
			作業環境に適合する入力機器を用意する			
	入力を怠る		不注意による	注意を喚起する表示を行う	作業漏れ防止のチェックリスト等を使用する	
	当該業務が完了しないと次に進めないよう制御する			他業務の割込を抑制し、当該作業に集中できる状況を整える		
12	カウントを怠る	器材、ガーゼ、針等が体内に残る 術前のカウント結果と一致しなくなる	作業手順を守らない	当該業務が完了しないと次に進めないよう制御する	作業手順を明確にし、徹底する	
	カウントを忘れる		不注意による		作業漏れ防止のチェックリスト等を使用する	
	カウントを誤る		作業状況が不適切である		他業務の割込を抑制し、当該作業に集中できる状況を整える	
			作業時の確認を怠る		作業手順を明確にし、徹底する	

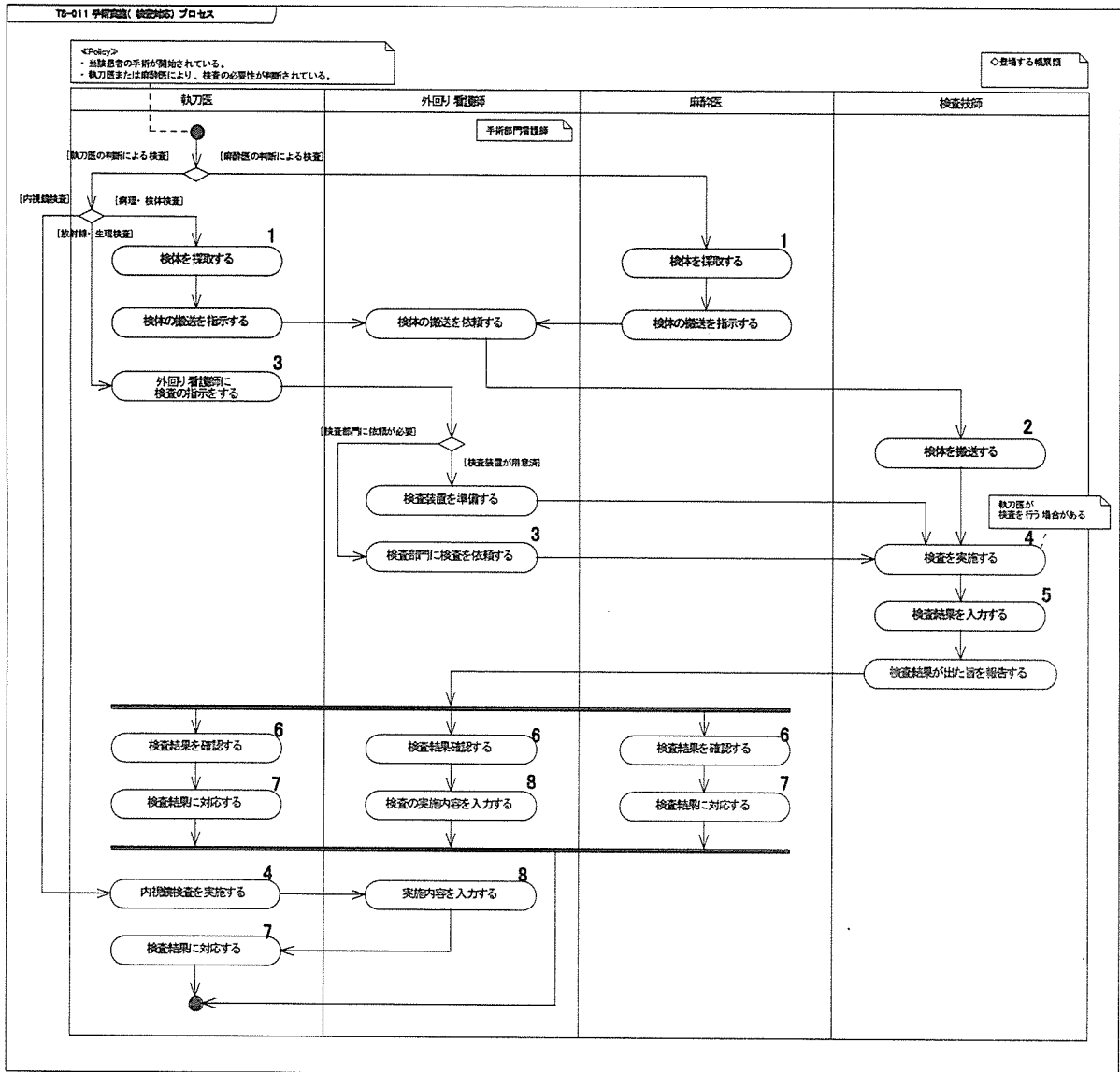
TS-010 手術実施(異状対応)プロセス



TS-010 手術実施(異状対応)プロセス(表)

No.	誤り	影響	原因	対策	
				情報システム	情報システム以外
1	内容を誤る	・異状への対応が十分に行われない ・異状への誤った対応が行われる	思い違いによる		伝達された内容に誤りがないか受領者が確認する
2	内容を誤る	・誤った器材、薬剤が準備される ・必要な器材、薬剤が準備されない	思い違いによる		伝達された内容に誤りがないか受領者が確認する
3	対応を誤る	・異状が回復しない ・状態が悪化する	知識・経験が不足している		勉強会の開催等を行う
			作業時の確認を怠る 対応前の確認作業が不十分である		知識・経験を持った職員がサポートする 二重チェック、あるいはペアによるチェックを義務付ける 作業上の注意事項を周知する
4	内容を誤る 内容が不足する 入力を忘れる 入力を怠る 表現が不適切である	最適な術後のケアが行えない	入力時の操作性が悪い	入力を誤りにくい操作法を採用する	
			入力時の確認を怠る	確認を促す表示を行う	
			知識・経験が不足している	内容の妥当性を検証するための機能を提供する	勉強会の開催等を行う
			入力に十分な時間がかけられない	迅速に入力できるような操作性を実現する	入力代行者などの職員を配置する
				作業環境に適合する入力機器を用意する	
			不注意による	注意を喚起する表示を行う 当該業務が完了しないと次に進めないよう制御する	作業遅れ防止のチェックリスト等を使用する
			作業状況が不適切である		他業務の割込を抑制し、当該作業に集中できる状況を整える
			作業手順を守らない	当該業務が完了しないと次に進めないよう制御する	作業手順を明確にし、徹底する
			用語や記載方法が不適切である	標準的な用語、記載方法を呼び出す機能を提供する	業務上使用する用語や表現を標準化し、周知する
			共通認識となっていない内容を入力する	共通認識となるべき情報を周知する機能を提供する(情報の回覧、掲示板等)	マニュアルの整備、勉強会の開催等、知識の共有化を行う
5	内容を誤る 内容が不足する 入力を忘れる 入力を怠る	正確な会計ができない	入力時の操作性が悪い	入力を誤りにくい操作法を採用する	
			入力時の確認を怠る	確認を促す表示を行う	
			知識・経験が不足している	内容の妥当性を検証するための機能を提供する	勉強会の開催等を行う
			入力に十分な時間がかけられない	迅速に入力できるような操作性を実現する	入力代行者などの職員を配置する
				作業環境に適合する入力機器を用意する	
			不注意による	注意を喚起する表示を行う 当該業務が完了しないと次に進めないよう制御する	作業遅れ防止のチェックリスト等を使用する
			作業状況が不適切である		他業務の割込を抑制し、当該作業に集中できる状況を整える
			作業手順を守らない	当該業務が完了しないと次に進めないよう制御する	作業手順を明確にし、徹底する

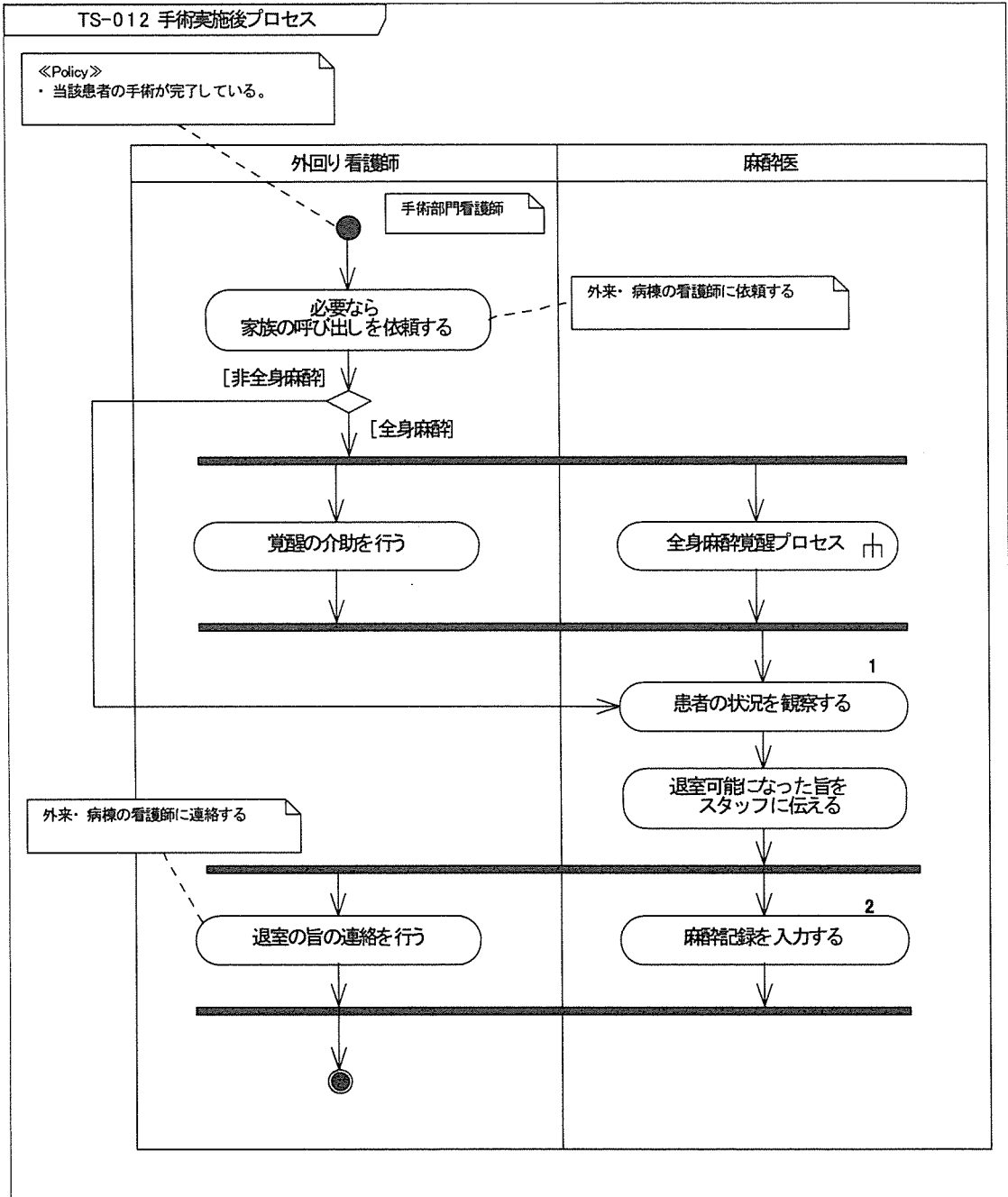
TS-011 手術実施(検査対応)プロセス



TS-011 手術実施(検査対応)プロセス(表)

No.	誤り	影響	原因	対策	
				情報システム	情報システム以外
1	採取方法や部位を誤	患者に不要な負荷を与える	知識・経験が不足している		勉強会の開催等を行う
			作業時の確認を怠る 注射前の確認作業が不十分である		知識・経験を持った職員がサポートする 二重チェック、あるいはベアによるチェックを義務付ける 作業上の注意事項を周知する
2	変更する 破損する	検査ができない 再度検体採取が必要となる	搬送手段が不適切である		取扱マニュアルを作成し、周知する
			搬送手段が不適切である		取扱マニュアルを作成し、周知する
3	内容を誤る	誤った内容で検査が実施される 必要な検査が実施されない	思い違いによる		伝達された内容に誤りがないか受報者が確認する
4	検査方法を誤る	正しい検査結果が出ない	知識・経験が不足している		勉強会の開催等を行う
			作業時の確認を怠る 検査前の確認作業が不十分である		知識・経験を持った職員がサポートする 二重チェック、あるいはベアによるチェックを義務付ける 作業上の注意事項を周知する
5	内容を誤る	必要な対応が行われない 誤った対応が行われる	入力時の操作性が悪い	入力を誤りにくい操作法を採用する	
			入力時の確認を怠る	確認を促す表示を行う	
			知識・経験が不足している	内容の妥当性を検証するための機能を提供する	勉強会の開催等を行う
			入力に十分な時間がかけられない	迅速に入力できるような操作性を実現する	入力代行者などの職員を配置する
内容が不足する	表現が不適切である	用語や記載方法が不適切である 共通認識になっていない内容を入力する	作業環境に適合する入力機器を用意する		
			標準的な用語・記載方法呼び出す機能を提供する 共通認識となるべき情報を周知する機能を提供する(情報の回覧、掲示板等)	業務上使用する用語や表現を標準化し、周知する マニュアルの整備、勉強会の開催等、知識の共有化を行う	
6	内容を見誤る	必要な対応が行われない 誤った対応が行われる	見誤りやすい表示方法である	大きさや色、配置等を工夫した表示をする	
			知識・経験が不足している	ヘルプや録音など知識・経験を補う機能を提供する	マニュアルの整備、勉強会の開催等、知識の共有化を行う
			用語や記載方法が不適切である 共通認識になっていない知識を要求する	標準的な用語・記載方法呼び出す機能を提供する 共通認識となるべき情報を周知する機能を提供する(情報の回覧、掲示板等)	業務上使用する用語や表現を標準化し、周知する マニュアルの整備、勉強会の開催等、知識の共有化を行う
			知識・経験が不足している	ヘルプや録音など知識・経験を補う機能を提供する	マニュアルの整備、勉強会の開催等、知識の共有化を行う
7	対応を誤る	異状が回復しない 状態が悪化する	知識・経験が不足している		勉強会の開催等を行う
			作業時の確認を怠る 対応前の確認作業が不十分である		知識・経験を持った職員がサポートする 二重チェック、あるいはベアによるチェックを義務付ける 作業上の注意事項を周知する
8	内容を誤る	最適な術後のケアが行えない	入力時の操作性が悪い	入力を誤りにくい操作法を採用する	
			入力時の確認を怠る	確認を促す表示を行う	
			知識・経験が不足している	内容の妥当性を検証するための機能を提供する	勉強会の開催等を行う
			入力に十分な時間がかけられない	迅速に入力できるような操作性を実現する	入力代行者などの職員を配置する
			不注意による	作業環境に適合する入力機器を用意する	
			作業状況が不適切である	注意喚起する表示を行う 当該業務が完了しないと次に進めないよう制御する	作業遅れ防止のチェックリスト等を使用する
			作業手順を守らない	当該業務が完了しないと次に進めないよう制御する	作業手順を明確にし、徹底する
			用語や記載方法が不適切である 共通認識になっていない内容を入力する	標準的な用語・記載方法呼び出す機能を提供する 共通認識となるべき情報を周知する機能を提供する(情報の回覧、掲示板等)	業務上使用する用語や表現を標準化し、周知する マニュアルの整備、勉強会の開催等、知識の共有化を行う

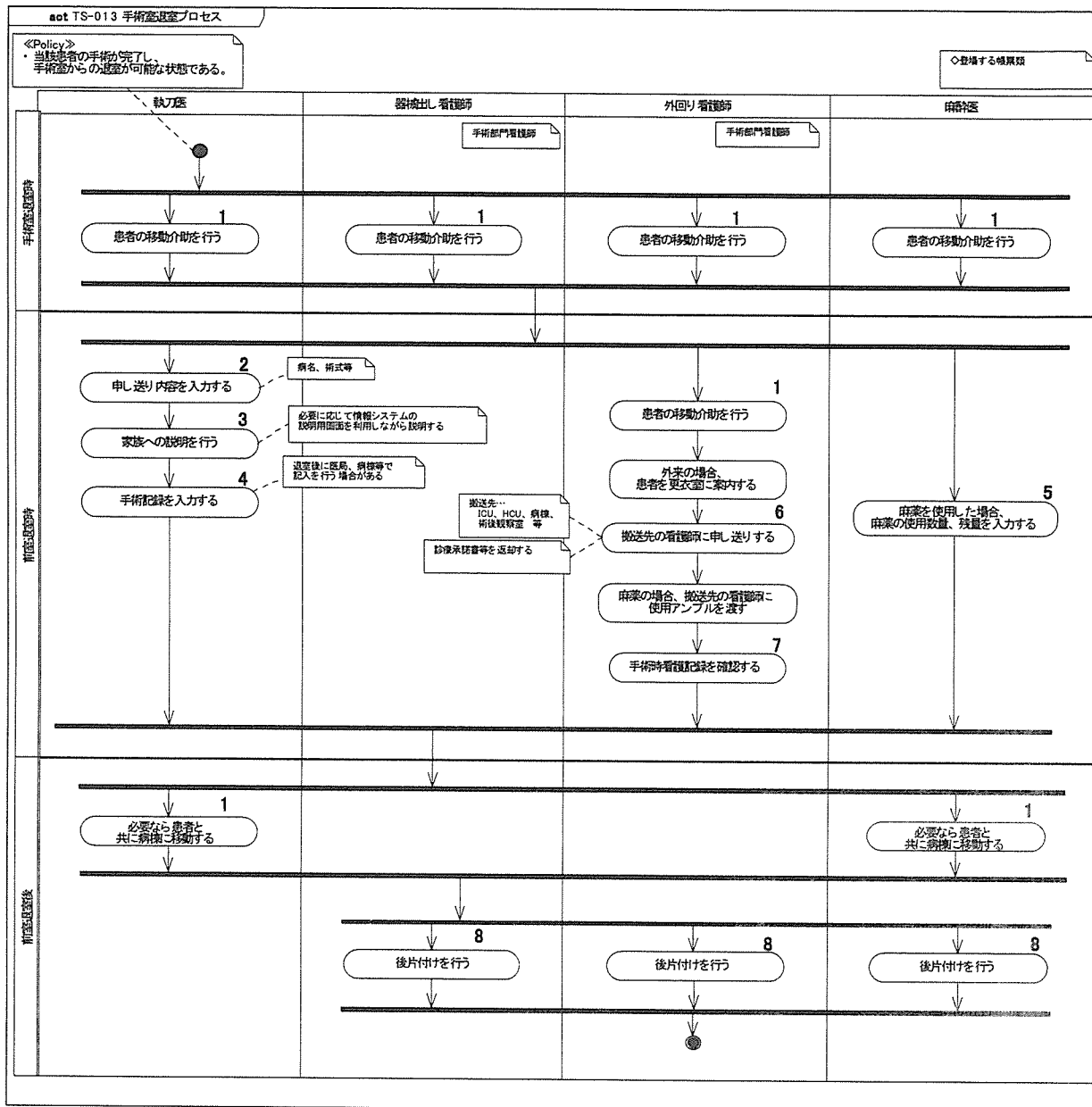
TS-012 手術実施後プロセス



TS-012 手術実施後プロセス(表)

No.	誤り	影響	原因	対策		
				情報システム	情報システム以外	
1	異状を見落とす	異状への対応が遅れる 患者の回復が遅れる	知識・経験が不足している		勉強会の開催等を行う	
	誤認する		知識・経験が不足している		知識・経験を持った職員がサポートする 教育をする 知識・経験を持った職員がサポートする	
2	内容を誤る	最適な術後のケアが行えない	入力時の操作性が悪い	入力を誤りにくい操作法を採用する		
	内容が不足する		入力時の確認を怠る	確認を促す表示を行う	勉強会の開催等を行う	
			知識・経験が不足している	内容の妥当性を検証するための機能を提供する	入力代行者などの職員を配置する	
	入力をおぼれる		入力に十分な時間がかげられない	迅速に入力できるような操作性を実現する		
			作業環境に適合する入力機器を用意する			
	入力をおぼる		不注意による	注意を喚起する表示を行う	作業遅れ防止のチェックリスト等を使用する	
			当該業務が完了しないと次に進めないよう制御する			
	入力をおぼる		作業状況が不適切である			作業遅れ防止のチェックリスト等を使用する
作業手順を守らない		当該業務が完了しないと次に進めないよう制御する		作業手順を明確にし、徹底する		
表現が不適切である	用語や記号方法が不適切である	標準的な用語・記号方法を呼び出す機能を提供する		業務上使用する用語や表現を標準化し、周知する		
	共通認識になっていない内容を入力する	共通認識となるべき情報を周知する機能を提供する(情報の閲覧、掲示板等)		マニュアルの整備、勉強会の開催等、知識の共有化を行う		

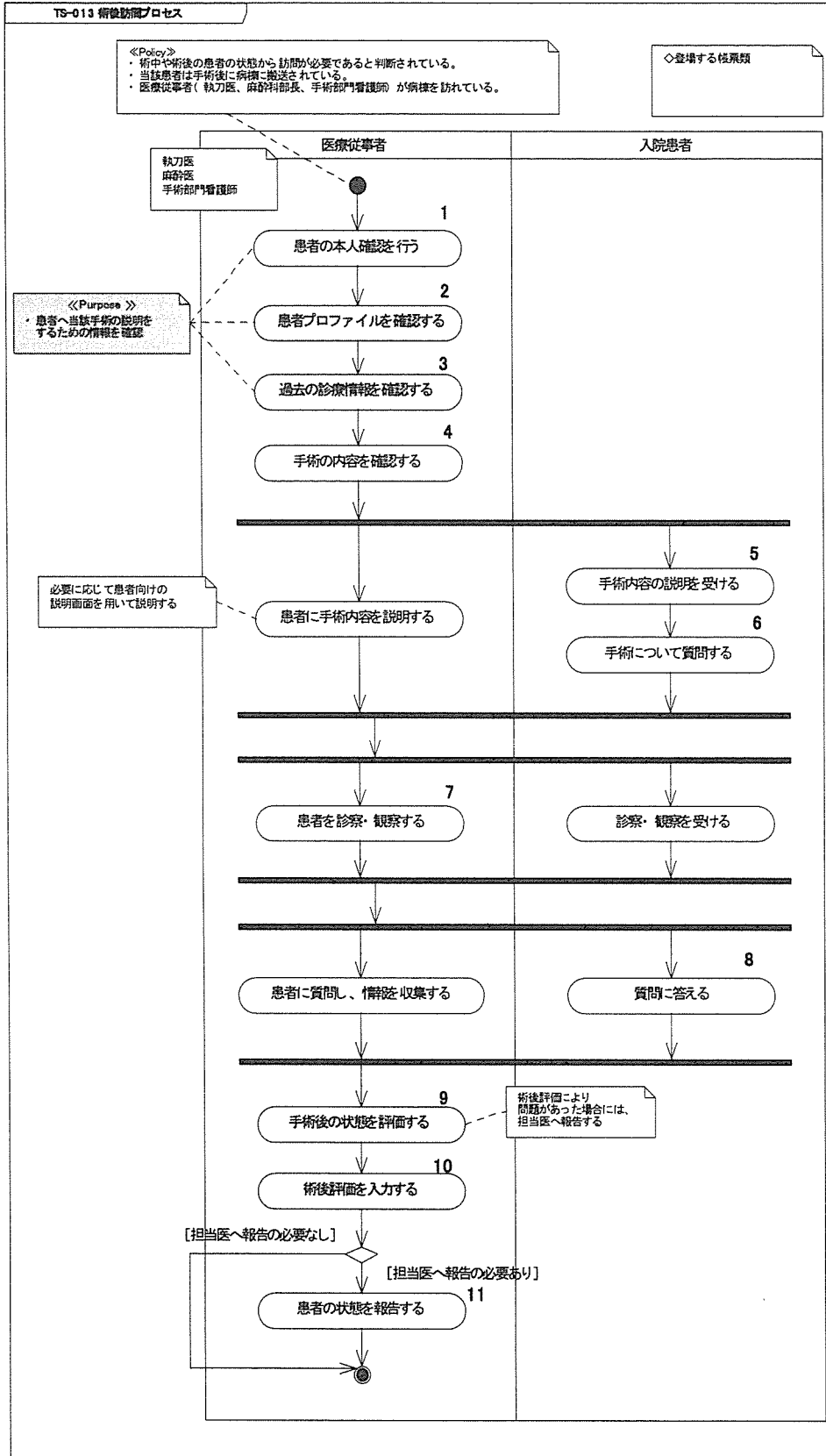
TS-013 手術室退室プロセス



TS-013 手術室退室プロセス(表)

No.	誤り	影響	原因	対策	
				情報システム	情報システム以外
1	転倒・転落させる	患者の体に不要な負荷を与える	不注意による		作業上の注意事項を周知する
			介助する人数が不足している		複数人で介助を行う
			作業方法が不適切である		訓練を行う マニュアルを作成し、周知する
2	内容を誤る	最適な術後のケアが行えない	入力時の操作性が悪い	入力を誤りにくい操作法を採用する	
			入力時の確認を怠る	確認を促す表示を行う	
	知識・経験が不足している		内容の妥当性を検証するための機能を提供する	勉強会の開催等を行う	
	入力に十分な時間がかけられない		迅速に入力できるような操作性を実現する	入力代行者などの職員を配置する	
	作業環境に適合する入力機器を用意する				
	記憶していた内容を忘れている		携帯端末やベッドサイド端末で情報の発生時に入力できるようにする		
内容が不足する	表現が不適切である	用語や記載方法が不適切である	標準的な用語・記載方法を呼び出す機能を提供する	業務上使用する用語や表現を標準化し、周知する	
		共通認識になっていない内容を入力する	共通認識となるべき情報を周知する機能を提供する(情報の閲覧、提示板等)	マニュアルの整備、勉強会の開催等、知識の共有化を行う	
		受信時の確認を怠る		受信した内容の理解に誤りがないか医師に確認する	
3	誤って認識する 内容を理解できない	家族の理解が不十分なままになる	情報の内容が難解である		患者に合わせた難易度で表現する
			内容が不足する	患者説明用の画面を表示する	看護師が情報伝達のサポートを行う
					看護師が情報伝達のサポートを行う
4	内容を誤る	最適な術後のケアが行えない	入力時の操作性が悪い	入力を誤りにくい操作法を採用する	
			入力時の確認を怠る	確認を促す表示を行う	
	知識・経験が不足している		内容の妥当性を検証するための機能を提供する	勉強会の開催等を行う	
	入力に十分な時間がかけられない		迅速に入力できるような操作性を実現する	入力代行者などの職員を配置する	
	作業環境に適合する入力機器を用意する				
	記憶していた内容を忘れている		携帯端末やベッドサイド端末で情報の発生時に入力できるようにする		
内容が不足する	表現が不適切である	不注意による	注意を喚起する表示を行う	作業遅れ防止のチェックリスト等を使用する	
		作業状況が不適切である	当該業務が完了しないと次に進めないよう制御する	他業務の割込を抑制し、当該作業に集中できる状況を整える	
		作業手順を守らない	当該業務が完了しないと次に進めないよう制御する	作業手順を明確にし、徹底する	
5	内容を誤る	正確な会計ができない	入力時の操作性が悪い	入力を誤りにくい操作法を採用する	
			入力時の確認を怠る	確認を促す表示を行う	
			知識・経験が不足している	内容の妥当性を検証するための機能を提供する	勉強会の開催等を行う
内容が不足する	表現が不適切である	不注意による	注意を喚起する表示を行う	作業遅れ防止のチェックリスト等を使用する	
		作業状況が不適切である	当該業務が完了しないと次に進めないよう制御する	他業務の割込を抑制し、当該作業に集中できる状況を整える	
		作業手順を守らない	当該業務が完了しないと次に進めないよう制御する	作業手順を明確にし、徹底する	
6	内容を誤る	最適な術後のケアが行えない	思い違いによる		伝達された内容に誤りがないか受領者が確認する
			見誤りやすい表示方法である	大きさや色、配置等を工夫した表示をずる	
			知識・経験が不足している	ヘルプや辞書など知識・経験を補う機能を提供する	マニュアルの整備、勉強会の開催等、知識の共有化を行う
7	内容を見誤る 内容を理解できない	最適な術後のケアが行えない	用語や記載方法が不適切である	標準的な用語・記載方法を呼び出す機能を提供する	業務上使用する用語や表現を標準化し、周知する
			共通認識になっていない知識を要求する	共通認識となるべき情報を周知する機能を提供する(情報の閲覧、提示板等)	マニュアルの整備、勉強会の開催等、知識の共有化を行う
			作業手順を守らない		作業手順を明確にし、徹底する
8	作業方法を誤る	看護師自身が汚染される	知識・経験が不足している		取扱マニュアルを作成し、周知する

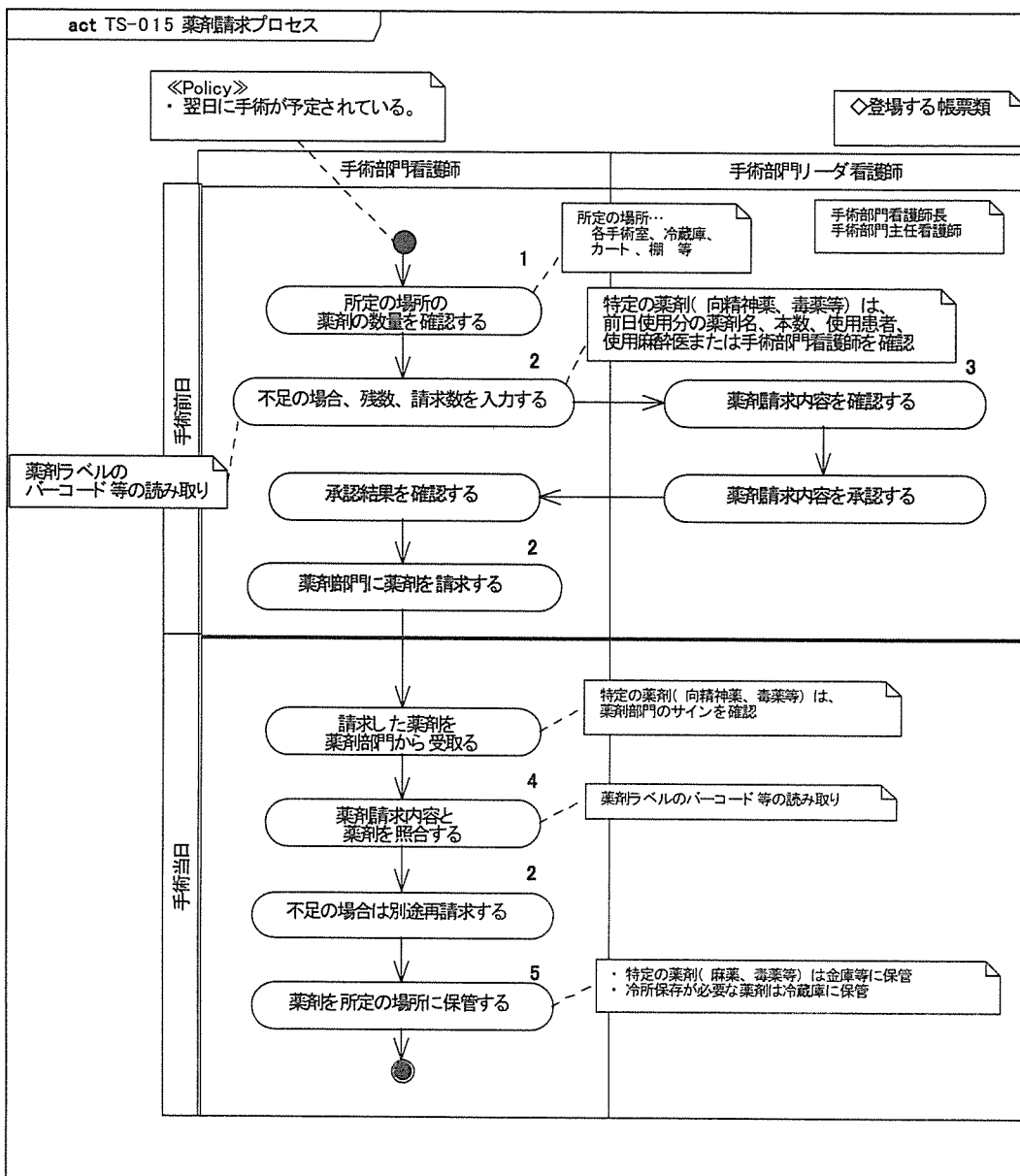
TS-014 術後訪問プロセス



TS-014 術後訪問プロセス(表)

No.	誤り	影響	原因	対策	
				情報システム	情報システム以外
1	本人確認を誤る	当該患者に対して訪問時の説明、観察等を行うことができない 他の患者に対して訪問時の説明、観察等が行われる	記憶のみに頼った本人確認をする	容易で確実性の高い照合方法を提供する(バーコード、ICタグ等の活用)	二重チェック、あるいはペーパーによるチェックを義務付ける
	本人確認を怠る		作業手順を守らない	容易で確実性の高い照合方法を提供する(バーコード、ICタグ等の活用)	患者に氏名等の識別可能な情報を応えてもらう
	内容を見落とす		他の情報に埋もれてしまっている	あらかじめ操作目的に必要な情報に絞りで表示する	二重チェック、あるいはペーパーによるチェックを義務付ける
2	内容を見落とす	病歴、アレルギー等、診療上の注意点を押さえた上で説明、観察等ができない	他の情報に埋もれてしまっている	あらかじめ操作目的に必要な情報に絞りで表示する	患者に氏名等の識別可能な情報を応えてもらう
	内容を見誤る		見誤りやすい表示方法である	大ききや色、配置等を工夫した表示をする	二重チェック、あるいはペーパーによるチェックを義務付ける
	確認を怠る		作業手順を守らない	確認した旨の操作を要求し、それが完了しないと次に進めないよう制御する	作業手順を明確にし、徹底する
3	内容を見落とす	患者の状態を十分に把握した上で説明、観察等ができない	他の情報に埋もれてしまっている	あらかじめ操作目的に必要な情報に絞りで表示する	
	内容を見誤る		見誤りやすい表示方法である	大ききや色、配置等を工夫した表示をする	作業手順防止のチェックリスト等を使用する
	確認を怠る		作業手順を守らない	確認した旨の操作を要求し、それが完了しないと次に進めないよう制御する	作業手順を明確にし、徹底する
4	内容を見落とす	手術結果に即した説明、観察等ができない	他の情報に埋もれてしまっている	あらかじめ操作目的に必要な情報に絞りで表示する	
	内容を見誤る		見誤りやすい表示方法である	大ききや色、配置等を工夫した表示をする	作業手順防止のチェックリスト等を使用する
	確認を怠る		作業手順を守らない	確認した旨の操作を要求し、それが完了しないと次に進めないよう制御する	作業手順を明確にし、徹底する
5	誤って認識する	患者の理解が不十分なまま術後の対応が行われる	受領時の確認を怠る		受領した内容の理解に誤りがないか医師に確認する
	内容を見落とす		相手の内容が難解である	患者に合わせた難易度で表現する	患者間のコミュニケーションを密にし、伝えやすい環境をつくる
	内容が不足する		相手の信頼していない	情報システムにより情報を伝達しやすい環境を提供する	患者間のコミュニケーションを密にし、伝えやすい環境をつくる
6	異常を見落とす	異常への対応が遅れる 正確な術後評価が行えない	知識・経験が不足している		勉強会の開催等を行う
	誤認する		知識・経験が不足している		知識・経験を持った職員がサポートする
	誤って認識する		受領時の確認を怠る		受領した内容の理解に誤りがないか医師に確認する
7	内容を見落とす	術後の問題への対応が遅れる 術後の問題への十分な対応ができない 術後の回復が遅れる	知識・経験が不足している	関連する情報を収集し、評価する機能を提供する	場面に応じた評価基準を明確にする
	内容が不足する		判断するための情報を収集し、提供する	重要な評価項目についてはカンファレンスにより、方針を決定する	
	内容を見誤る		入力時の操作性が悪い	入力を誤りにくい操作法を採用する	
8	内容を見落とす	術後の問題への対応が遅れる 術後の問題への十分な対応ができない 術後の回復が遅れる	入力時の操作性が悪い	入力を誤りにくい操作法を採用する	
	内容が不足する		入力時の確認を怠る	確認を促す表示を行う	勉強会の開催等を行う
	内容を見誤る		知識・経験が不足している	内容の妥当性を検証するための機能を提供する	勉強会の開催等を行う
9	内容を見落とす	術後の問題への対応が遅れる 術後の問題への十分な対応ができない 術後の回復が遅れる	入力時の操作性が悪い	入力を誤りにくい操作法を採用する	
	内容が不足する		入力に十分な時間がかけられない	迅速に入力できるような操作性を実現する	入力代行者などの職員を配置する
	内容を見誤る		記憶していた内容を忘れていた	携帯端末やベッドサイド端末で情報の発生時に入力できるようにする	作業手順防止のチェックリスト等を使用する
10	内容を見落とす	術後の問題への対応が遅れる 術後の問題への十分な対応ができない 術後の回復が遅れる	入力時の操作性が悪い	入力を誤りにくい操作法を採用する	
	内容が不足する		入力に十分な時間がかけられない	迅速に入力できるような操作性を実現する	入力代行者などの職員を配置する
	内容を見誤る		記憶していた内容を忘れていた	携帯端末やベッドサイド端末で情報の発生時に入力できるようにする	作業手順防止のチェックリスト等を使用する
11	内容を見落とす	術後の問題への対応が遅れる 術後の問題への十分な対応ができない 術後の回復が遅れる	入力時の操作性が悪い	入力を誤りにくい操作法を採用する	
	内容が不足する		入力に十分な時間がかけられない	迅速に入力できるような操作性を実現する	入力代行者などの職員を配置する
	内容を見誤る		記憶していた内容を忘れていた	携帯端末やベッドサイド端末で情報の発生時に入力できるようにする	作業手順防止のチェックリスト等を使用する

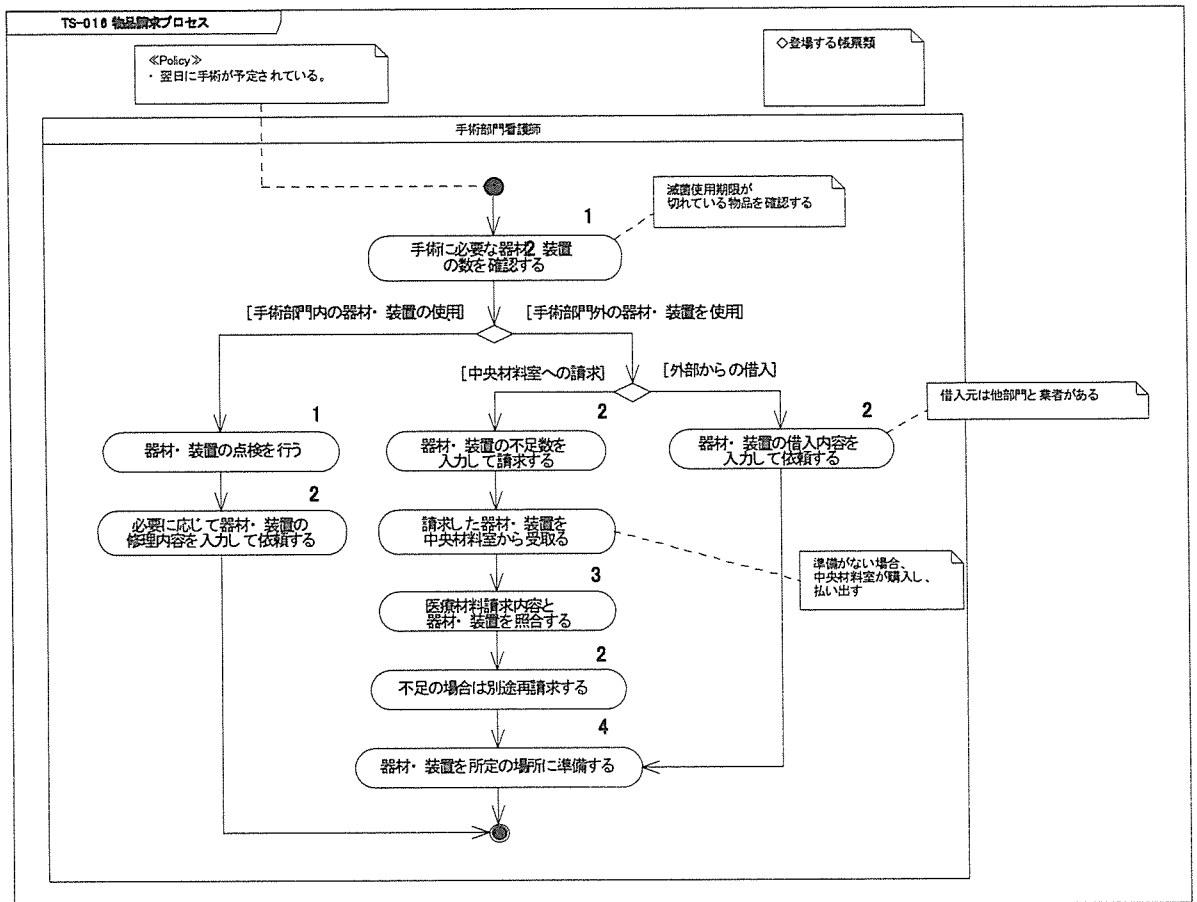
TS-015 薬剤請求プロセス



TS-015 薬剤請求プロセス(表)

No.	誤り	影響	原因	対策	
				情報システム	情報システム以外
1	確認を怠る	残数に応じた適切な対応がとれない	作業手順を守らない		作業手順を明確にし、徹底する
	確認を忘れる		不注意による		作業漏れ防止のチェックリスト等を使用する
2	確認を誤る	適切な分量の請求が行われない 別の薬剤が納品されてしまう	作業状況が不適切である	入力の際に誤りやすい操作法を採用する	他業務の割込を抑制し、当該作業に集中できる状況を整える
			作業時の確認を怠る		確認を促す表示を行う
3	内容を見誤る	誤った承認を行う	入力時の操作性が悪い	知識・経験が不足している	勉強会の開催等を行う
4	対象となる物や情報の誤りを見逃す	請求内容と異なる薬剤を受け入れる	見誤りやすい表示方法である	大きさを、配置等を工夫した表示をする	二重チェック、あるいはペアによるチェックを義務付ける
	照合を怠る		作業時の確認を怠る	容易で確実性の高い照合方法を提供する(バーコード、ICタグ等の活用)	
5	保管場所を誤る	薬剤が見つからない 薬剤の不適切な使用につながる 薬剤が変質する	作業手順を守らない	当該業務が完了しないと次に進めないよう創設する	作業手順を明確にし、徹底する
			保管場所が分かりにくい		取扱マニュアルを作成し、周知する
			知識・経験が不足している		取扱マニュアルを作成し、周知する

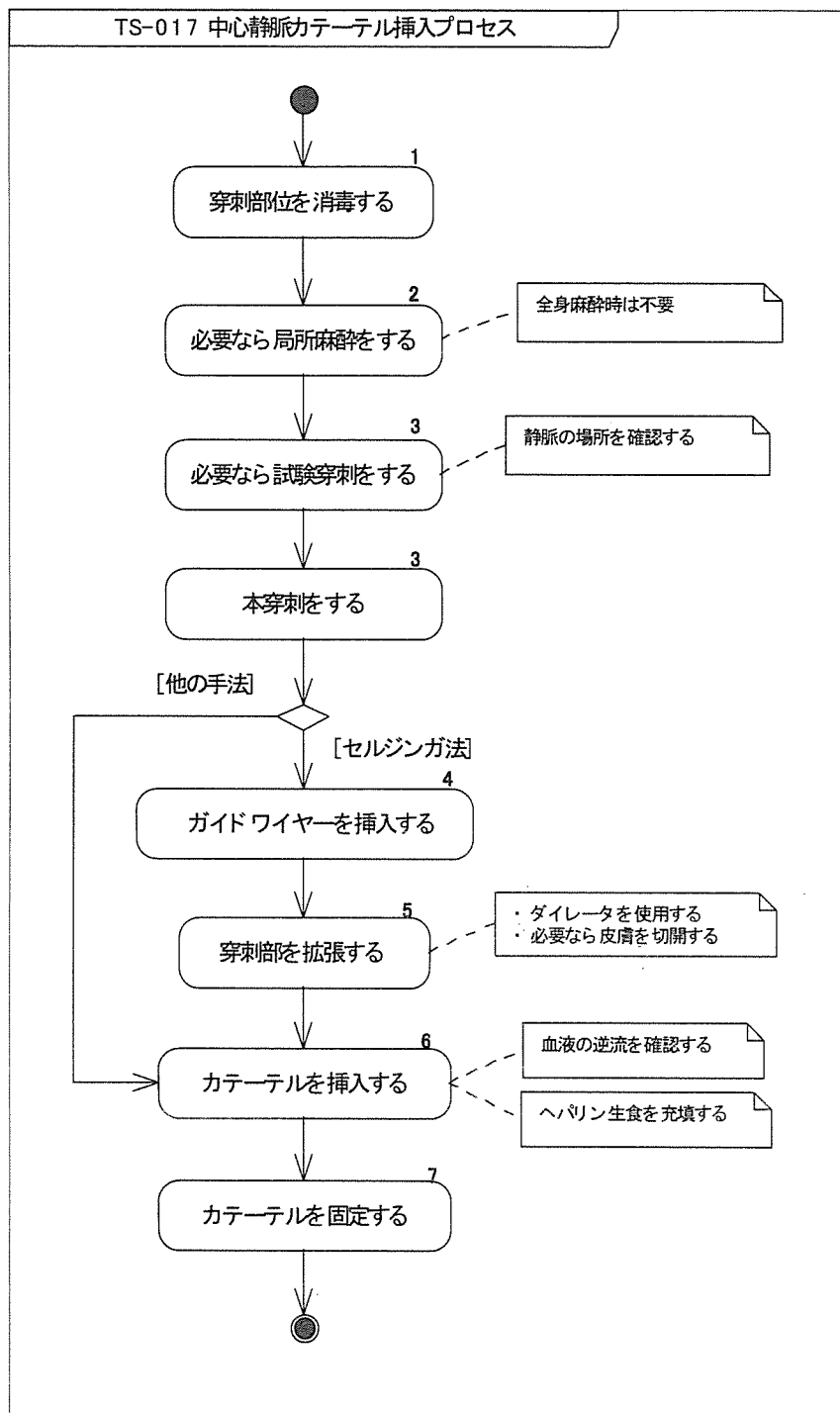
TS-016 物品請求プロセス



TS-016 物品請求プロセス(表)

No.	誤り	影響	原因	対策	
				情報システム	情報システム以外
1	確認を怠る	積数に応じた適切な対応がとれない	作業手順を守らない		作業手順を明確にし、徹底する
	確認を忘れる		不注意による		作業漏れ防止のチェックリスト等を使用する
	確認を誤る		作業状況が不適切である		他業務の割込を抑制し、当該作業に集中できる状況を整える
			作業時の確認を怠る		作業手順を明確にし、徹底する
2	内容を誤る	・適切な分量の請求や依頼が行われない ・別の物品が納品・借り入れされる	入力時の操作性が悪い	入力を誤りにくい操作法を採用する	
			入力時の確認を怠る	確認を促す表示を行う	
3	対象となる物や情報の誤りを見逃す 照合を怠る	請求内容と異なる物品を受け入れる	知識・経験が不足している		勉強会の開催等を行う
			作業時の確認を怠る	容易で確実性の高い照合方法を提供する(バーコード、ICタグ等の活用)	二重チェック、あるいはペーパーによるチェックを義務付ける
4	保管場所を誤る	・器材・装置が見つからない ・器材・装置の不適切な使用につながる ・器材・装置が変質する	作業手順を守らない	当該業務が完了しないと次に進めないよう制御する	作業手順を明確にし、徹底する
			保管場所が分かりにくい		取扱マニュアルを作成し、周知する
			知識・経験が不足している		取扱マニュアルを作成し、周知する

TS-017 中心静脈カテーテル挿入プロセス



TS-017 中心静脈カテーテル挿入プロセス(表)

No.	誤り	影響	原因	対策	
				信頼システム	信頼システム以外
1	消毒方法を誤る (消毒範囲が狭い等)	穿刺部位が感染する	知識・経験が不足している 挿入前の確認作業が不十分である 不注意による 作業状況が不適切である 作業手順を守らない		勉強会の開催等を行う
	消毒を忘れる			知識・経験を持った職員がサポートする 作業上の注意事項を周知する	
	消毒を怠る			作業濡れ防止のチェックリスト等を使用する 感染物の前処置を仰請し、当該作業に集中できる状況を整える 作業手順を明確にし、徹底する	
2	薬剤を取り違える	麻酔の効果が得られない 誤薬による悪影響が出る	作業時の確認を怠る		二重チェック、あるいはベアによるチェックを義務付ける
	部位を誤る	炎症のある部位を穿刺して感染が起こる 麻酔薬が血管内に注入される	知識・経験が不足している 作業時の確認を怠る 処置前の確認作業が不十分である	知識・経験を持った職員がサポートする 勉強会の開催等を行う 知識・経験を持った職員がサポートする	二重チェック、あるいはベアによるチェックを義務付ける 作業上の注意事項を周知する
	投与量を誤る	投与量が少ない場合、麻酔の効果が得られない	作業時の確認を怠る		二重チェック、あるいはベアによるチェックを義務付ける
				知識・経験を持った職員がサポートする	
3	穿刺方法を誤る	動脈を損傷して血腫ができる 横脊下動脈を損傷して胸腔内に血液が流出する 肺を損傷して気胸が起こる 神経を損傷する	知識・経験が不足している		勉強会の開催等を行う
					知識・経験を持った職員がサポートする
4	挿入方法を誤る	ガイドワイヤーが深く入り心臓に負荷を与える ガイドワイヤーが迷入して心臓に負荷を与える 動脈を損傷して血腫ができる 横脊下動脈を損傷して胸腔内に血液が流出する 肺を穿孔して気胸が起こる 上大静脈、右房、右室を穿孔する	知識・経験が不足している 挿入前の確認作業が不十分である		勉強会の開催等を行う
					知識・経験を持った職員がサポートする
					作業上の注意事項を周知する
5	拡張方法を誤る	ガイドワイヤーが折れ曲がり心臓に負荷を与える ガイドワイヤーが迷入して心臓に負荷を与える 動脈を損傷して血腫ができる 横脊下動脈を損傷して胸腔内に血液が流出する 肺を穿孔して気胸が起こる 上大静脈、右房、右室を穿孔する	知識・経験が不足している 挿入前の確認作業が不十分である		勉強会の開催等を行う
					知識・経験を持った職員がサポートする
					作業上の注意事項を周知する
6	挿入方法を誤る	カテーテルが迷入して心臓に負荷を与える 動脈を損傷して血腫ができる 横脊下動脈を損傷して胸腔内に血液が流出する 肺を穿孔して気胸が起こる 上大静脈、右房、右室を穿孔する 挿入部位から空気が流入する	知識・経験が不足している 挿入前の確認作業が不十分である		勉強会の開催等を行う
					知識・経験を持った職員がサポートする
					作業上の注意事項を周知する
7	固定方法を誤る	カテーテルの掛け・閉塞が起こり、輸液の投与ができない	知識・経験が不足している 挿入前の確認作業が不十分である 不注意による 作業手順を守らない 作業手順を守らない		勉強会の開催等を行う
					知識・経験を持った職員がサポートする 作業上の注意事項を周知する
					作業濡れ防止のチェックリスト等を使用する
					作業手順を明確にし、徹底する 作業手順を明確にし、徹底する